



令和2年度

学校だより

4月号

教育目標 かしこい子 思いやりのある子 たくましい子

足立区立本木小学校
令和2年4月7日

主体的

校長 藤田 曉美

67名の新1年生を迎え、全校児童436名で、本木小学校の新しい一年がスタートいたしました。

3月、101名の卒業生が巣立つ姿を見送りながら、小学校義務教育の6年間の重みを改めて強く感じました。と同時に、この6年間で子供たちをしっかりと成長させなければいけないという決意を新たにしました。

さて、今年度は、新学習指導要領が全面実施となる年です。学校教育に求められるものが大きく変わっていく中で、本木小学校も柔軟に対応できる学校であり続けられるよう、教職員一同、最善を尽くして参ります。

今回の新学習指導要領で大きく求められている「主体的・対話的で深い学び」の「主体的」とはどんなことを意味するのでしょうか？「主体的」と似ている言葉で「自主的」という言葉がありますが、どのような違いがあるのでしょうか？辞書には、以下のように書かれていました。

「主体的」：やるべき事が決まっていなくても、他から強制されるのではなく、状況に応じて自らの意思で行うさま。

「自主的」：やるべき事が決まっているものを他からの干渉がなくても、自然と自分から進んで行うさま。

「主体的」も「自主的」もすすんで行うといった点では同じですが、「主体的」には、周りの状況を見ながら、自分の意志や判断によって行動することが求められます。それであれば、「主体的」は「自主的」よりもさらに進化したものであると言えます。

今世界中の国々が直面している「新型コロナウイルス感染症拡大」の問題においても、私たちに求められていること、それは「主体者であれ」ということだと思います。他人事ではなく、自分の問題として捉える。周りの様子を敏感に感じ取る。自分にできることを判断し、行動に移すこと。

今年度は、「主体的」であるとはどのような姿なのかをより一層頭に思い描きながら、子供たちを育てていきます。そして、私たち自身も、自らが「主体的」であるのかを振り返っていきたいと思います。

地域・保護者の皆様におかれましては、今年度も本校へのご理解・ご協力をお願い申し上げます。